

松戸ロータリークラブ

【2010-11年度国際ロータリーテーマ】

地域を育み、大陸をつなぐ

Building Communities,
Bridging Continents

[第2645回例会]

会 報

No.2644

2010年9月1日 発行

●四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

●THE 4-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?



地域を育み、大陸をつなぐ

本日のプログラム

2010年9月1日(水)

卓 話

「新世代のために」

川並芳純 会員

次回のプログラム

2010年9月8日(水)

卓 話

「ロータリーに入会して」

車田善教 会員

- 例会日 毎週水曜 12:30~1:30
- 例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム
TEL: 047-364-1111
- 事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F
TEL: 047-366-2266
FAX: 047-361-2255
U R L : matsudo-rc.com
E-mail : info@matsudo-rc.com

- 会 長 伊原 清良
- 会長エクト 常盤 映彦
- 副 会 長 加藤 栄
- 幹 事 松田 茂一
- 会 計 加瀬 仁
- 会報委員 松本 幸夫 申 澈権 太田原慎一
- 山田 達郎 澤田 正宏 土肥伸一郎
- 加瀬 仁 車田 善教 浅井 利明
- 三国 大吾

「会員増強について」

会員選考・増強委員会

森田雅久 委員長



8月の国際ロータリーの主要テーマが「会員増強および拡大月間」ということで卓話を仰せつかりました。増強委員長を拝命したときから8月の卓話が決まっていたわけですから「さて、卓話で何を話そうか・・・」と悩んでおりましたところ、先週末、千葉市中央区で開催されました地区

のクラブ奉仕委員会「会員増強セミナー」に出席して参りましたので、その内容をお伝えしようと思います。

一般的に、各団体がおこなう「会員拡大セミナー」でありがちなのが、本部、ロータリーの場合はR I、国際ロータリーになりますが、各地のデータを並べて会員減少の危機感をあおる・・・といった悲壮的な内容だったり、どうすれば会員を増やせるか・・・といった技術的なお話だったり、どうすれば会員の退会を防げるか・・・といった組織の運営改革だったり、だいたいこんなところだろうと思います。いずれにしても、「飛躍」、「発展」、「前向き」といったような明るいものとは逆のところにある、どちらかといえば「暗いイメージ」のセミナーになりがちだったりします。

先般おこなわれた地区セミナーは、各クラブの会長、クラブ奉仕委員長、増強委員長、広報系の委員長が分区ごとのテーブルに分かれまして、大半の時間を「こうして我がクラブは会員増強を計画している」といったテーマでディスカッションがおこなわれました。

15年前、2790地区には4350名のロータリアンがいらっしゃいました。その後、右肩下がりの方通行を続けまして、今年の6月末には2773名となり、この15年間で、1570名ものロータリアンを失ったわけでありまして。いうまでもなく、会員数の減少というのはクラブの死活問題であります。会員が減少すると、そのクラブの活力が失われ、組織の魅力が薄れます。財政基盤を失うことで、充実した奉仕活動ができなくなくなります。なによりも、ロータリーの綱領に書かれている「奉仕の機会として知り合いを広める」といったような機会が少なくなります。

現在、世界では1クラブ当たりの平均会員数が39名といわれていますが、日本国内の1クラブ当たりの平均会員数が40名。しかしながら、2790地区は84クラブに対して、会員数2773名なので1クラブ当たりの平均会員数が33名であります。2790地区、この千葉県は、世界的にも、日本国内においても、平均値を大きく下回っているわけでありまして。

分区ごとの発表では、入会パンフレット作成を考えているクラブ、3カ年計画で特別委員会を設置したクラブ、DM発送を考えているクラブもございました。そして、意外だったのが、J C (青

年会議所) 卒業者へ積極的にアプローチするという意見のテーブルが多かったことでした。日本のJ Cは、戦後の復興と歩をあわせ『明るい豊かなまちづくり』というスローガンのもと、指導力開発、社会開発をおこなってきた40歳までの経済団体であります。地域の有望な人材を育成してきた実績のある素晴らしい団体だと思っていますし、私自身、この団体に所属したことを大いなる誇りに思っています。しかしながらロータリーに対しては若干、問題があるような気がします。日本のロータリアンの平均年齢が極めて高い理由の一つとして、J Cを卒業したあと、ロータリーに入会するという習慣が定着していることでもあります。たとえば、姉妹クラブの天和ロータリーと比較しても、平均年齢が大きく違います。というよりも、明らかにみて一世代、違います。若い年齢で入会する習慣がある海外のロータリーには、若い会長、若いガバナー、そして若くて行動力のあるR I理事を送り出すことが可能となります。そして自国の若いロータリアンが国際ロータリーの中枢に入ること、国際ロータリーに対して責任ある発言や行動を取っていきける、もちろん、クラブの活性化を高めることもできる・・・、そんなことを天和クラブと交流しているときに感じました。いずれにしても、多種多様化する現代社会において、ロータリーにとって「若い人材の確保、育成」というのが重要なポイントになります。米山梅吉翁が言った「ロータリーは人間性を高める人生の道場」というものであれば、入会は若ければ若いほど良いことも明確であります。日本のロータリーも、もっと若い方が入会しやすい、そして若い方が馴染みやすいクラブ運営、環境を作っていくべきだろうと思います。

松戸クラブは今期5名の方が入会されまして、現在53名のクラブになりました。年代別でみると40代と50代の会員が同数で、40代と50代の会員がクラブ全体の半数以上をしめるクラブになったわけでありまして。

松戸クラブの過去10年間の会員数の増減、平均年齢の推移を見ていただくとおわかりのように、松戸クラブは10年前と比べると会員が増えています。そして、驚くことに平均年齢も下がっています。当然のことですが、会員を増やさず、どなたもお辞めにならなかった場合でも平均年齢は1歳づつ上がるわけです。

全国的に会員が減少している、平均年齢が上がっているという現実を考えれば、あまり実感できませんが、たぶん凄いことなんだろうと思います。

織田ガバナーが「理論と実践のバランスがとれているクラブは会員が減少していない。その反面、会員を減らしているクラブは、そのクラブの魅力を引き出せていない。」とおっしゃっていました。

クラブの会員がロータリーの2つのモットー「service above self 超我の奉仕」という奉仕哲学、そして「He profits most who service best 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践理論の原理、この「奉仕の理想」を理解し、毎週の例会に真剣に取り組んでいる、そしてクラブに愛着と誇りを持っている、そんなクラブが会員を減らすことなく、そして2代目、3代目への世襲交代、世代交代もしっかりおこなわれているのではないのでしょうか。

私たち松戸クラブには入会5年以内の会員が25名もいらっしゃいます。つまり会員の半分が新人だったり、発展途上だったりするわけでありま

す。今年度、この25名は職業奉仕委員会、クラブ研修委員会に配属され、職業奉仕研修会に参加していただいておりますが、正にこの活動こそが今後の松戸クラブの命運をかけているんだろうと思っています。

以上で卓話を閉じますが、伊原会長が掲げた増強目標が6名です。私が自己ノルマと課したのが

純増5名です。やみくもに会員増強するつもりはございませんし、職業分類表に照らし合わせて、その業界のリーダーの方、また今後、リーダーシップを発揮されるだろうと思われる方を選考した上で、あと1名乃至2名の方をご入会に導きたいと考えています。どうか皆様のご協力をお願いいたします。

第2644回例会

例 会 報 告

2010年8月25日

会 長 換 抄



伊原清良 会長

船橋ロータリークラブの瀧芳文様、青木忠茂様、ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごし下さい。先週はガバナー公式訪問、無事に終了いたしました。各位に御礼申し上げます。クラブ協議会でのやりとりが充実してい

たと思えました。先週は公式訪問の忙しさにかまけて、会長として新会員の篠宮功さんの入会に対しておめでとうと言った記憶がありません。1週間ごしですが改めて、おめでとうございます。雪和食品には22年勤続している、関口勇という製造の課長がいますが、篠宮会員のいとこであります。

8月は会員増強および拡大月間です。本日の卓話は森田雅久会員より、「会員増強について」であります。新入会員はすでに5名です。レクチャーすべて中山ロータリー情報委員長に、お世話になりました。ありがとうございます。ドイツ・イタリアのロータリークラブは、ここ10年に増員に成功している。大変誇り高い運営をするのが一般的で、一業一会員制を固守し「なかなか入会させてもらえないクラブ」を運営するので、一度入会できると「もったいなくてやめる人はいない」と言われています。松戸ロータリークラブもここ10年、増員に成功しています。2790地区では、会員数20名未満のクラブが13クラブもあり、退会防止にやっきになっています。地区のセミナーではマイナス思考で方法論に終始している感じでした。**魅力あるクラブ**をめざすことが王道だと思います。

野田のすみれコースのメンバーで東京銀座ロータリークラブのロータリアンと話をする機会がありました。私と同じ年齢で化学関係の会社を経営されています。銀座ロータリークラブは松戸ロータリークラブより2年遅れて設立。総会員数は、160名で通常出席者は100名。彼いわく、会長なんて絶対まわってこないし、会長は資生堂の社長とかがやるもんだと言っていました。彼は今年、IGFR (International Golfing Fellowship of Rotarians) というのに便乗して、フランスでゴルフをやってきたと言う。地元のロータリアンの手配により、懇親パーティはなんとベルサイユ宮殿でタキシード着用とのこと。コンペ参加者が持ち寄った景品で寄付を募るのだそうです。日本から

8名参加したそうです。銀座ロータリークラブからは4名が参加。来年の開催地は、よくUSオープンを開催するパインハーストで、2年後はセントアンドリュースだそうです。軽く、積立てして、一緒に行こうよと誘われました。

魅力あるクラブには**魅力ある人物**がたくさんいます。資生堂の社長、最近結婚した海老蔵の父の市川団十郎さん、聖路加病院院長の日野原重明さんなどです。考えるだけでウキウキしてきますね。とても退会防止などのマイナスな議論をしている様子はありません。

新入会員の方に申し上げたいことは、ご自身を会員増強とか拡大というものの道具であったとか、その結果のひとつなどと、思わないでください。私も杉浦裕会員にやや強引に誘われた訳ですが、その後は自己責任ですべてを判断していくのは当然と思われま。松戸ロータリークラブに入会後は、あわてずに、ご自身のペースで友情や交友を育み下さい。

友情について、夏坂 健というゴルフ作家の一文です。スコットランドの田舎町で、ある初老の男が軽いアルツハイマーになっていた。ふらふらと町はずれのゴルフ場に出掛けはじめると、その奥さんから連絡が入り、親しい友人たちが、本人への心くばりで、たまたま偶然を装っていつも同行してゴルフをする。「やあ、サム偶然だね、ゴルフかい、一緒に遊ぼうよ。」「うん」……サムは途中、ゴルフするのを忘れ、夕陽をボーッと眺めている。四人が、横一列で眺めながら、「ほんとはね。サム、なんて綺麗なんだ。」コースでの安全配慮や自身の心に従って死ぬまで付き合ってた話ですが、泣けました。「人生の中で真の友と出会い、日々心の贅沢に浸ることが出来たならば、富も名誉も色褪せた話にすぎないと思うよ。」と結ばれています。

雑感 例会後に行われた職業奉仕研修会に船橋ロータリークラブの瀧様、青木様も参加されました。船橋ロータリークラブにも高齢化の波が押し寄せています。織田ガバナーが松戸ロータリークラブを褒めたのでそのコツなどを勉強に来られた由。恐縮です。

ある人が「ロータリーのゆるやかさが好き」と言っていました。それはロータリアンは「しっかりとしているという前提でのゆるやかさが好き」という話である。しっかりと学びながら、ロータリーを愛する心を育てることが大切だと確信しています。

ついでにいつものジョーク、手引きのカートの時に、「やあ、マーちゃん、偶然だね、ゴルフかい、一緒に遊ぼうよ。」と言われたら、アルツハイマーになっている可能性があります。Nさん。

幹 事 報 告



松田茂一 幹事

1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内
会費（前期分）を全員収めていただきました。
10月15日（金）ロータリー情報研究会の開催。（入会5年未満の会員）
2. 外部からの会議・連絡事項等の案内
特にございません。
3. 他クラブ会報・その他
活動計画書が松戸中央RCより届いています。
4. 例会変更の連絡
特にございません。
5. その他報告
特にございません。

委 員 会 報 告

インターアクト委員会

下田由起男 委員長



8月24日、千葉にて地区第2回インターアクト合同会議が開催されました。2点、報告させていただきます。

1. 7月30日、開催されました「第44回インターアクト年次大会」にて、講演しました聖徳大学附属女子高等

学校の阿部桃子さんが写真とともに、翌日の毎日新聞に掲載されました。



千葉でインターアクト年次大会
高校生の社会奉仕活動
動「インターアクト」の
第44回年次大会（国際
ロータリー第2790
地区インターアクト委
員会主催）が30日、千葉
市稲毛区の千葉経済大
付属高校で開かれた。
聖徳大付属女子高3
年の阿部桃子さん（18
が高一の夏から1年間
た。「斎藤有香」）

米カリフォルニア州に
留学した時、現地の高
校のインターアクトク
ラブに入部した経験を
報告し、写真、自分たち
でキーを磨いたり洗
車をした対価として寄
付をお願いするなど、
日本の募金活動との方
法の違いに驚いたとい
う。阿部さんは「私も
日本でもできることを考
えていきたい」と話し
た。

毎日新聞 2010年7月31日発行 記事より

2. 第22回インターアクト国外研修が、9月10日～13日、韓国、釜山にて開催されます。
聖徳大学附属女子高等学校の生徒5人が参加されます。

職業奉仕委員会 [3分間スピーチ]

申 激権 会員



パチンコ屋が何の職業奉仕ができるか？
老人ホームにパチンコ台を寄付
ただし、パチンコ台は中に入ったら出てこなければならぬし、また入りっぱなしでもだめであり、工夫を凝らし、単体で出てくる状態を作った

そこで2台を寄付したところ、音楽が楽しい空気を演出し、老人ホームの方々も大変喜んでくれた交換を繰り返し、3年目となったが、今後、千葉県全体の老人ホームに寄付するようにしたい

例 会 報 告

[例会写真]



お客様
船橋RC 瀧様、青木様

[出席報告]

会員53名	義務会員44名	免除会員 9名
出席43名	義務会員37名	免除会員 6名
仮欠10名	義務会員 7名	免除会員 3名

[欠席者]

島村 善行君	大川 吉美君	太田原慎一君
平松 徹君	中田智次郎君	土肥伸一郎君
浅井 利明君		

[M U]

加藤 栄君	地区クラブ委員会セミナー	8月21日
中山 政明君	我孫子RC	8月24日

本日出席率 86.0%

[お客様]

瀧 芳文様	船橋RC
青木 忠茂様	船橋RC

ニ コ ニ コ B O X

ニコニコBOX 当日¥ 0 累計¥245,000

財 団BOX 当日¥ 4,385 累計¥ 34,421

文責 / 車田